



他社とタッグを組むことで  
業務の可能性や幅が拡大

パリッとしたスーツを身にまとった、ちょっとお堅いエリート……。そう銀行員をイメージする人が少なくはないのだろうか。そんな固定概念を一蹴しているのが、「島根銀行」だ。「計算や分析はAIがやってくれる時代。数字に強いより、相手に寄り添い、親身になってその人の人生を考えてくれるような人が銀行には必要なんです」。強調するのは、ノーネクタイにチノパンといったスタイルの高島浩希・人事総務グループ次長(38)だ。同行では2019年から女性行員の制服を廃止し、男性行員もスーツ着用義務がなくなった。「お客様のニーズは多様化しています。見た目の多様性がお客様に業務の幅広さを伝え、行員自身も意識するきっかけになれば」

ある中も、山陰では多くの企業が倒産している。「小さな地域でパイの取り合いをしても仕方がない。再発した企業の魅力や強みを発信することで新たな商圏を生み出していけるはず」。一企業でなく、山陰の経済を守るために存在する、というスタンスなのだ。

2019年、ネット金融大手のSBIホールディングスと資本業務提携を締結(「しまぎんアプリ」導入やインターネット上の支店(「しまホ」)の開設など、従来弱かったITサービスが著しく向上した。また、世界中に顧客を抱える大手とつながることで、融資を超えた企業支援の幅も広がった。「コロナ禍で売り上げ減少に悩んでいた地元のカニ小売業者に、海外への販路を提供することもできました。従来はできなかったサービス展開が可能になってきたのです」

22年には吉本興業HDと包括業務提携を結び、特産品を活用した新商品開発やBS番組の企画協力など、銀行の枠にとられない事業にも注力。その根幹を担うのが、行員一人一人のモチベーションだ。「誰もが必要な存在。それを本人たちが感じられる銀行でありたい。一人一人が存分に能力を発揮できることが、お客様や地域の元気につながるのですから」

しまねぎんこう  
株式会社 島根銀行

銀行の枠を超えたサービスで  
人々の暮らしや地域経済を元気に

35  
LEADING COMPANY

# SHIMANE 島根銀行

## 株式会社 島根銀行

### 事業内容

金融業

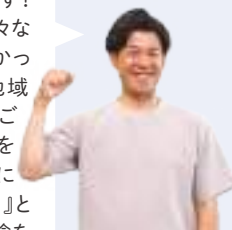
創業 大正4 (1915) 年5月20日  
 代表者 取締役頭取 鈴木 良夫  
 社員数 398名 (男223名 女175名)  
 本社 島根県松江市朝日町484-19  
 電話 0852-24-1234

### 採用エリア (勤務地)

安来市、松江市、出雲市、大田市、江津市、  
 浜田市、益田市、隠岐郡、米子市、境港市、  
 倉吉市、鳥取市

### 採用担当者からあなたへ

私たちは山陰で暮らす皆様の夢を応援する企業です！山陰で暮らす皆様を様々な形でご支援し、夢に向かって伴走していきます。地域を愛し、地域の皆様をご支援したい『山陰愛』をもっている方、『いくつになってもワクワクしたい』という方は是非一緒に山陰を盛り上げましょう！！



人事財務グループ 次長  
高島 浩希さん

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0852-24-1238

採用直通 E-mail

jinji@shimagin.co.jp

公式サイトは  
こちら



### 取引関係なく地域の魅力PR

島根銀行のSNSでは、自社や法人顧客の商品・活動のPRだけでなく、取引先以外の店舗なども積極的に紹介。地域全体を活気づけていきたいという思いの表れだ。境支店では、岩田さんを中心に同年代の女性行員3人がセンスある画像で地域の魅力を発信している。



### Instagramで地元情報を積極的に発信

高校時代、地元の伝統産業や地域振興などについて学んだ岩田さんが当初志望したのは地方公務員。しかし試験に落ち、卒業を目前にして就職活動することに。そんな時、進路担当の先生から持ち込まれたのが島根銀行の求人だった。「お金を預けたら引き出したりするイメージしかなかった銀行。でも、話を聞くと幅広い業務があり、希望していた地域貢献の仕事が違う形で実現できると知り、挑戦することにしました」

窓口勤務を経て、今春から個人顧客担当の渉外業務に就く。一軒一軒顧客宅を回り、個々のニーズ

を引き出しつつ、資産運用や相続税対策などのプランを提案。「用があって銀行を訪れる方に対応する窓口業務と違い、ご本人さんも可視化されていない要望を探っていくのは大変」と苦笑する。真摯に寄り添うことで、顧客に頼りにされる良きパートナーになるのが目標だ。

高校で写真部だった経験を生かし、銀行のInstagramで地元情報を積極的に発信。「境港の美味しいものを食べたいだけ(笑)」と云いつつ、アップされた動画は玄人はだしの出来栄。地域貢献に一役買っている。



境支店渉外担当  
岩田 乙華さん(21)  
2021年入社



### 信頼関係築き資産運用支援

現在伊藤さんがメインで担当しているのは、定期預金の紹介や相続対策などの資金運用。時には何度も顧客宅に足を運び、信頼関係を築いた上で一人一人に見合った運用スタイルを提案している。「お客様の大事な資産。寄り添ってお話を聞くことが第一です」



### 地元企業のリブランディングを支援

昨年度、預かり資産の販売金額で通算1位を獲得。「目標数値はありますが、一番大事なのはお客様の意向。一人一人のお客様に向き合っていたら結果につながっただけ」と謙虚に受け止める。一方で、「ご褒美に東京での研修旅行の機会を頂き、東京タワーの目の前のホテルに泊まらせてもらいました」と素直に喜びを見せる。

地元で穴道湖クルージングを提供する観光船運営会社のリブランディングプロジェクトにも参画。若手女性社員や女子高校生と一緒に企画を練り上げ、クラウドファンディングでは目標を上回る金額を

集め、限定スイーツやライトアップなどを実現、メディアにも大きく取り上げられた。「正直大変でしたが、会社はコロナ禍前より売り上げも認知度も格段に上がり、皆の願いが叶った感じです」。銀行が企業を支援する方法が、融資に留まらないことも体感した。

元々は保育士志望。学生時代、アルバイト先の給与受給手続きで銀行を訪れ、凛々しく仕事する行員に憧れて進路が変わった。「動機は不純です」と笑うが、今や多くの顧客から頼られ、後輩にも慕われる立派な銀行員だ。



本店営業部渉外担当  
伊藤 かずみさん(25)  
2018年入社



### よりよい銀行へ人事にも関心

小学生から野球に打ち込み、関西大学在学中は学生コーチとして明治神宮大会2位に貢献。「250人の大所帯をまとめていました」。高いコミュニケーション能力を通じ、社内外で多くの人間関係を構築。「銀行をよりよくしたいので、人事の仕事にも関わりたい」



### 目指すのは、銀行員らしくない銀行員

大手メガバンクや大学職員の内定を蹴って選んだのが、島根銀行だった。「先輩行員と話をした後に10年後の自分の姿をイメージしたら、自由に生き生きと動いていたんです。規模は小さくても、形に縛られずにやりたいことに挑戦できる職場だと感じました」。服装規定がなく、人間関係が良さそうな雰囲気も後押ししたという。

法人向け融資担当として、売り上げ数億単位の企業から家族経営の会社などまで約50社を受け持つ。「お金の動きや事業の詳しい内容などを経営者から直接教えてもらえるのは若さゆえの特権。銀行

内部のルールもまだ知らないことが多く、今後もしっかりと各種知識を得てお客様の役に立てる存在になりたい」

融資という形を超えた企業支援にも挑戦している。今夏には、地域の起業家5人に公開プレゼンをしてもらい、その場でクラウドファンディングを募る「第1回松江地域クラウド交流会」の企画・運営を担当。民間企業だけでなく、行政や商工会議所など各種団体とも関わりができ、視野が広がった。

地域のためにやれることは何でもする。目指すのは銀行員らしくない銀行員だ。



本店営業部事業性融資担当  
森下 翔太さん(24)  
2022年入社

